

## 「上郡町一般廃棄物処理基本計画（案）について」

### パブリック・コメントの結果

■意見等の募集期間：平成29年1月13日～平成29年2月20日

■意見等の受付件数：1人 10件

（提出方法の内訳：電子メール1人）

#### 1. 意見等の概要と町の考え方

##### 【意見1】

この計画は誰に伝えるために作ったのでしょうか。

a. 県、または国に報告する義務のためでしょうか。

b. 町民に伝えたものとするなら、一人の町民として伝わってくるものがわかりません。

##### 【町の考え方】

本計画は、廃棄物処理法に定められた法定計画として位置づけがなされていますが、本町の住民及び事業者の方に読んで頂き、ごみの減量化に向けてさらなる取組を推進していくことを目的に作成したものです。

##### 【意見2】

数表やグラフの資料が結構ありますが、町職員が作った資料でなく、コンサルタントに依頼して作成してもののでしょうか。

a. 状況説明がきわだって多過ぎるのではないのでしょうか。

b. 対策等の中身が、町民の日常生活に沿ったきめ細かい具体策になっていると思えません。

##### 【町の考え方】

本計画では、本町全体のごみ処理の実態を、データを中心に詳細に捉えることによって、住民の皆さまのごみ減量化への取組の成果がどのように現われているのか、また、どのような点に課題があるのかを点検することも目的の一つとしています。また、本計画は向こう15年間の本町のごみ処理に対する基本的な取組方針を示したものです。

ごみの減量化や資源化に向けた具体的な取組については、広報誌等を通じて住民の皆さまへの周知、啓発を継続してまいります。

##### 【意見3】

ゴミを発生するのは町民や町内の事業者。その人たちが主役のはず。その人たちの協力が一番大切と思いますが、その訴えが弱いと思います。

a. 具体的な何をどうするべきか、協力の訴えや提案が弱いのではないのでしょうか。

b. ごみ処理にかかる費用が僅か一部にしか記載されていません。費用対効果の記述は説得力が出ます。費用対効果で町民を説得する記述が欲しいです。

##### 【町の考え方】

本計画は向こう15年間の本町のごみ処理に対する基本的な取組方針を示したものです。ごみの減量化や資源化に向けた具体的な取組については、広報誌等を通じて住民の皆さまへの周知、啓発を継続してまいります。ごみの減量化と資源化は住民の皆さまのご協力を前提としています。住民の皆さまの取組の成果を費用対効果で示すための工夫について、今後、庁内でも検討を進めてまいります。

**【意見4】**

ごみゼロ宣言の町、上勝町を訪問し花本町長にもお会いしました。実態を見学し説明をお聞きしました。現状のリサイクル率は約80%で、残り3年の2020年に焼却・埋め立てゼロを達成する取り組みを行っています。

a.上郡町も20や30%の低いリサイクル率を目指すのではなく、高い目標を設定し、他町村に先駆けて循環型社会を目指すべきではないでしょうか。既に先進自治体があるのですから。

**【町の考え方】**

本町は姫路市安富地域、たつの市新宮地域、宍粟市、上郡町、佐用町が一体となって運用するにしまクリーンセンターにおいて、広域処理を原則とした枠組みにおいてごみ処理を行っています。資源化率については、現状の分別品目でも十分に対応可能であると考えますが、経費に表れない住民負担は大きくなります。

関係機関との調整が必要ですので、ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見5】**

b.ごみの減量化等により、ごみ処理費用を削減し厳しい町財政を補うことができると考えます。その実現には町民の協力が欠かせません。町に専門委員会を創設し市民主体で市民感覚を取り入れて推進することが大切だと思います。自治会、事業者、一般市民、学識経験者を交えた町民主体の委員会を提案したいです。

**【町の考え方】**

ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見6】**

スローガンについて「進めようごみ減量 分けよう資源 未来のために」をスローガンとして掲げ、全町一丸となって、本計画に掲げた施策の推進を図る。

**【町の考え方】**

ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見7】**

ごみの減量化について

- 1 市民にごみ処理の現状をより理解してもらうためには、各町内に出向くなど、強くアピールする必要がある。
- 2 生ごみの減量化を進めるためには、コンポスト・ボカシ容器の利用方法や水切り等の具体的な方策を示して啓発を行なう必要がある。
- 3 生ごみの堆肥化について、事業系生ごみからでも、手掛けていく必要がある。
- 4 ごみ処理の有料化について、市民の理解を得るため、しっかりとした議論を行なう必要がある。
- 5 ごみの減量化を進めるためには、自治会や環境美化推進員と協力し、根気よく啓発することが必要である。また、大人だけでなく子供たちにも教育をしていくことが必要である。
- 6 環境教育が重要であるため、施設見学や出前講座をさらに進めていく必要がある。

**【町の考え方】**

ごみの減量化については、引き続き広報等において情報提供と普及啓発に努めていきます。

ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見8】**

ごみの資源化について

- 1 ミックス古紙の回収を増やすためには、さらに広報・啓発活動を通じて市民に協力を呼びかけていく必要がある。
- 2 他市と同じように、廃プラスチックの分別収集を検討・実施する必要がある。

3 ミックス古紙や廃プラスチックの処理など、市民参加型で仕組みを作り、市民にわかりやすくする必要があります。

4 ごみの分別の徹底を図るためには、町民にわかりやすい広報・啓発が必要である。

**【町の考え方】**

ごみの資源化については、引き続き広報等において情報提供と普及啓発に努めていきます。

ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見 9】**

ごみの適正処理について

1 多量排出事業者に対し、積極的に指導をしていく必要がある。

**【町の考え方】**

ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。

**【意見 10】**

計画の推進について

1 計画の実施状況について、各事業の自己評価を行うなど事業の重点的な実施方法などを検討していく必要がある。

**【町の考え方】**

既に行政評価として実施しております。

■お問い合わせ先：住民課 TEL：0791-52-1115

FAX：0791-52-6490

電子メール：jyumin@town.kamigori.lg.jp